茨城県
境町
No. 218

GIKAI GUIDEBOOK

議会だより

令和８年（2026年）11月1日発行
編集／広報編集委員会
発行／茨城県境町議会（境町391-1）

Tel 0280-81-1316　Fax 0280-87-5873
ＵＲＬ http://www.town.ibaraki-sakai.lg.jp



【第39回 利根川大花火大会（9月19日）】

７月・８月臨時会、９月定例会

臨時会議決事項　P2　/　決算特別委員会報告、一般会計決算グラフ　P３　/
決算一覧・監査委員報告　P４　/　議決事項　P５　/　一般質問　P６～　/　議会活動　P８

令和８年第２回臨時会
【7月7日（1日間の会期）全議案・原案可決】

補正予算関係

令和８年度境町一般会計補正予算

区　　分	予算現額	補正額	補正後の金額
一般会計(議案第45号)	183億2,612万円	750万円	183億3,362万円

各議案等審議結果

議案番号	議案名	議決年月日 議決結果
議案第43号	境町都市公園条例の一部を改正する条例案について	R８.７.７ 即日原案可決
議案第44号	JAPAN SAKAI ビッグエアパークの指定管理者の指定について	R８.７.７ 即日原案可決
議案第46号	都市公園を設置すべき区域の決定について	R８.７.７ 即日原案可決

令和８年第３回臨時会
【8月3日（1日間の会期）全議案・原案可決】

補正予算関係

令和８年度境町一般会計補正予算

区　　分		予算現額	補正額	補正後の金額
一般会計(議案第47号)		183億3,362万円	1億7,545万円	185億907万円
特別会計	境町住宅事業(議案第48号)	6億5,750万円	3億9,585万円	10億5,335万円

各議案等審議結果

議案番号	議案名	議決年月日 議決結果
議案第49号	財産の取得について （Airstream社Sports(ｷｬﾝﾋﾟﾝｸﾞﾄﾚｰﾗｰ)）	R８.８.３ 即日原案可決
議案第50号	財産の取得について （HOBBY社495UL(ｷｬﾝﾋﾟﾝｸﾞﾄﾚｰﾗｰ)）	R８.８.３ 即日原案可決
議案第51号	事業契約の締結について （第9期境地区定住促進住宅整備事業）	R８.８.３ 即日原案可決
議案第52号	町道路線の認定について （境町大字上小橋字長五郎分 地先　町道7053、7054、7055号線）	R８.８.３ 即日原案可決
議案第53号	町道路線の変更について （境町字清水、大字上小橋字長五郎分 地先　町道2061号線）	R８.８.３ 即日原案可決

令和８年第３回定例会

【9月9日～9月15日（7日間の会期）全議案・原案可決】

令和7年度一般会計・特別会計　歳入歳出決算を認定

決算特別委員会報告

９月９日開会初日、本会議に提案された令和７年度境町一般会計及び５件の特別会計並びに企業会計の決算認定については、委員 10 名による決算特別委員会を設置し、同委員会に付託されました。

委員会は、９月 14 日に開催され、慎重に審査をした結果いずれの会計とも認定すべきものと決定し、９月 15 日の本会議において委員長報告のとおり全会一致をもって認定されました。



決算特別委員会
田山　文雄　委員長

令和７年度　一般会計決算グラフ

【歳入決算額　263億3,598万3,960円】（対前年度増減額　△9億4,705万3,497円）
※グラフ内、()書きは構成比率

町税	41億7,294万6,140円（15.84％）
各種交付金等	34億5,684万5,392円（13.13％）
国庫支出金	38億4,429万7,011円（14.60％）
県支出金	9億6,073万2,194円（3.65％）
繰入金	56億2,908万8,919円（21.37％）
繰越金	7億8,699万8,824円（2.99％）
諸収入等	65億4,477万5,480円（24.85％）
町債	9億4,030万円（3.57％）

【歳出決算額　247億1,251万3,863円】（対前年度増減額　△17億8,352万4,770円）
※グラフ内、()書きは構成比率

議会費	1億635万770円（0.43％）
総務費	85億6,974万5,654円（34.68％）
民生費	46億6,632万5,573円（18.88％）
衛生費	7億6,705万8,878円（3.10％）
労働費	2,360万9,344円（0.10％）
農林水産費	3億6,540万5,149円（1.48％）
商工費	4億150万1,907円（1.62％）
土木費	12億5,548万8,347円（5.08％）
消防費	5億2,046万2,314円（2.11％）
教育費	12億7,816万957円（5.17％）
公債費	9億3,332万212円（3.78％）
諸支出金	58億2,508万4,758円（23.57％）
予備費他	0円（0.00％）

令和７年度　各種会計決算一覧

区　　分		歳入決算額	歳出決算額
境町一般会計		263億3,598万3,960円	247億1,251万3,863円
特別会計	坂東市外２か町公平委員会	99万7,054円	30万3,836円
	境町住宅事業	8億73万6,050円	7億9,881万9,751円
	境町国民健康保険事業	24億8,401万7,521円	24億6,529万2,021円
	境町後期高齢者医療事業	6億7,717万8,708円	6億7,569万5,704円
	境町介護保険事業	20億6,494万256円	20億2,184万7,542円
合　計		323億6,385万3,549円	306億7,447万2,717円

企業会計			収入決算額	支出決算額
水道事業会計	収益的		6億674万円	5億7,453万円
	資本的		0円	3,560万円
下水道事業会計	収益的	公共下水道事業	6億7,163万円	6億6,168万円
		農業集落排水事業	2億7,065万円	2億6,844万円
	資本的	公共下水道事業	2億1,989万円	2億9,642万円
		農業集落排水事業	7,598万円	9,379万円

（資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額は、過年度損益勘定留保資金等で補てんする。）

監査委員決算審査報告

５月25日に令和７年度境町水道事業会計及び下水道事業会計を、７月31日から８月13日まで（６日間）、令和７年度境町一般会計及び特別会計５件、並びに企業会計の審査を行い、その結果について山本監査委員より次のとおり報告がありました。

○一般会計

歳入財源は、新しい地方経済・生活環境創生交付金、デジタル田園都市国家構想交付金等、各種財源を積極的に活用し、各種施策・事業を効果的かつ効果的に実施していることが認められる。

歳出については、これまでも実施しているように、国・県補助金、基金等の財源を有効に組み合わせることにより、一般財源の負担を極力抑えながら事業を実施していることが伺える。各種事業についても概ね計画どおりに執行され、住民福祉の向上をはじめ、定住促進、地域経済の活性化、魅力あふれる町づくり等に向けた取組が着実に進められており、健全な行財政運営に努められものと認める。

○特別会計

各事業の目的及び性質を踏まえ、独立採算制の原則に基づき、引き続き財源確保に努めるとともに、徴収率向上に取り組まれたい。

国民健康保険事業については、国保加入者数が減となったものの、税収入は増となっている。被保険者の健康保持・増進及び医療費の適正化を図っていることが確認できる。

介護保険事業については、地域支援事業交付金等を活用した介護予防事業等を実施している。高齢者の健康維持及び介護予防を増進するとともに、介護給付費の適正化に努め、基金の積立を行うなど、安定した事業運営が図られていることが確認できる。

補正予算関係

令和８年度境町各種会計補正予算

区　　分			予算現額	補正額	補正後の金額
一般会計(議案第59号)			185億907万円	37億441万円	222億1,348万円
一般会計(議案第69号)			222億1,348万円	1億5,918万円	223億7,266万円
特別会計	住宅事業(議案第60号)		10億5,335万円	192万円	10億5,527万円
	国民健康保険事業(議案第61号)		26億6,185万円	872万円	26億7,057万円
	介護保険事業(議案第62号)		20億170万円	4,427万円	20億4,597万円
企業会計	下水道事業（議案第63号）農業集落排水事業会計	資本的支出	9,502万円	200万円	9,702万円

各議案等審議結果

議案番号	議案名	議決年月日 議決結果
承認 第12号	専決処分の承認を求めることについて （和解及び損害賠償の額の決定について）	R８.９.９ 即日原案承認
報告 第６号	令和７年度境町健全化判断比率及び資金不足比率の報告について	―
報告 第７号	令和7年度境町一般会計継続費の精算報告について	―
認定 第１号	令和７年度境町一般会計歳入歳出決算の認定について	R８.９.15 原案認定
認定 第２号	令和７年度坂東市外２か町公平委員会特別会計歳入歳出決算の認定について	R８.９.15 原案認定
認定 第３号	令和７年度境町住宅事業特別会計歳入歳出決算の認定について	R８.９.15 原案認定
認定 第４号	令和７年度境町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	R８.９.15 原案認定
認定 第５号	令和７年度境町後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算の認定について	R８.９.15 原案認定
認定 第６号	令和７年度境町介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	R８.９.15 原案認定
認定 第７号	令和７年度境町水道事業会計決算の認定について	R８.９.15 原案認定
認定 第８号	令和７年度境町下水道事業会計決算の認定について	R８.９.15 原案認定
議案 第54号	境町車両等保管場の設置に関する条例の制定について	R８.９.15 原案可決
議案 第55号	境町印鑑条例の一部を改正する条例案について	R８.９.15 原案可決
議案 第56号	境町地域経済牽引事業の促進による地域の成長発展の基盤強化に関する法律第９条第1項の規定に基づく準則を定める条例の一部を改正する条例案について	R８.９.15 原案可決
議案 第57号	境町勤労青少年ホームの設置、管理及び職員に関する条例を廃止する条例案について	R８.９.15 原案可決
議案 第58号	道の駅さかいの指定管理者の指定について	R８.９.15 原案可決
議案 第64号	財産の無償貸付について （境町大字長井戸字殿山　地内）	R８.９.15 原案可決
議案 第65号	財産の処分について （境町大字上小橋字長五郎分　地内）	R８.９.15 原案可決
議案 第66号	町道路線の認定について （境町大字山崎、蛇池、西泉田　地先　町道7056、7057号線）	R８.９.15 原案可決
議案 第67号	町道路線の変更について （境町大字西泉田、山崎、蛇池　地先　町道2365、2377号線）	R８.９.15 原案可決
議案 第68号	町道路線の廃止について　（境町大字西泉田、山崎、蛇池　地先　町道2366、2367、2370、2374、7001、7048号線）	R８.９.15 原案可決
陳情 第１号	教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度堅持のための政府予算に係る意見書採択を求める陳情	R８.９.15 採択
発議 第２号	境町議会決算特別委員会の設置について	R８.９.９ 即日原案可決
発委 第１号	教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度堅持のための政府予算に係る意見書案	R８.９.15 即日原案可決

一般質問



議席１番
間瀬 宏宣 議員

T-PLACE跡地の今後について

問 **現在、地権者との十分な合意形成が図られていないまま、債権者側において跡地利用に向けた動きが進められているとのことだが、今後町は、どのように対応していくのかを伺いたい。**

答 T-PLACEを運営していたファミリープラザ事業協同組合は、県からの資金償還の目途が立たず令和7年9月に破産手続きを開始し、同年12月の店舗退店をもって同施設は閉店となっております。跡地は敷地の大部分が借地であり、中心市街地に位置する活性化の重要拠点であることから、町は県や破産管財人、地権者等と有効活用について協議してまいりました。町主催の説明会では、事業者参入を促すため当初5年間の借地料を固定資産税相当額に抑える旨の理解を得たほか、複数デベロッパーへの意見を伺ってまいりました。

任意売却の買付募集に対しては、町が解体・撤去を前提に1億3,600万円を提示した一方、水戸市の事業者が既存建物をリフォームして存続させる前提で2億7,200万円を提示し、現在同社が買受候補者となっております。

しかし、建物存続には町を含む17名の地権者全員の合意が必要です。組合破産以降、借地料が支払われないまま税負担のみが続く状況を受け、地権者代表からは築約30年で老朽化した建物の撤去と新たな施設整備を求める要望書が町へ提出されました。地権者の一人でもある町もこの意向を重く受け止め、解体・撤去を前提とした土地利用を県知事や破産管財人へ要望しています。一方、県は債権回収の観点から建物存続前提で手続きを進めていますが、町は地権者の意向やまちづくりの視点が不可欠であると主張してまいります。

町は目先の利用だけでなく10年、20年先を見据え、地権者の皆様と連携しながら、この場所が再び中心市街地のにぎわい拠点となる土地利用の実現に向け、責任を持って対応してまいります。

（副町長）



議席２番
染谷 直人 議員

国際的教育環境の充実について

問 **境町の子どもたちが、より身近な環境で国際的な学びを深めることを念頭に、国際バカロレア教育を実践する教育機関との連携やサテライト的な教育拠点の誘致など、新たな学びの場を創出することについて、町の考えを伺いたい。**

答 町では、小中学校で培った英語力や国際感覚を、高校年代になっても継続して伸ばせる環境づくりを検討しています。その一つとして、探究的な学びや国際的な視野を育む国際バカロレア（IB）教育に注目し、既存の国際教育機関との連携やサテライト校などの誘致を研究しています。ぐんま国際アカデミーからも、町が施設環境を整えれば連携の可能性があるとの提案がありました。実現には、運営主体や施設整備、生徒数の確保、県立高校との関係、財源など多くの課題があります。今後は、企業版ふるさと納税やクラウドファンディング、施設運営による収入なども活用し、町の負担をできるだけ抑えながら、首都圏からの移住促進にもつながる教育環境の整備を目指して検討を進めてまいりたいと考えております。

（町長・教育長）

中学校の制服について

問 **①生徒が性別にかかわらず、スラックス等を含め、自分に合った制服を自由に選択できるよう、制服の選択肢を広げることについて、町の考えを伺いたい。**
②民間ブランドとの連携なども視野に、生徒が着たいと思える魅力ある制服の検討について、町の考えを伺いたい。

答 町では、中学校の制服について、性別に関わらずスラックスやスカートを選べるようにするなど、多様性や防寒性、動きやすさに配慮した見直しを検討しています。制服は毎日着るものだからこそ、機能性や価格だけでなく、生徒が愛着や誇りを持てるデザインも大切です。今年度リニューアルした体操服では、民間ブランドのノウハウを取り入れており、制服についても同様の連携を視野に入れます。今後は、生徒や保護者へのアンケートを行い、必要な機能やデザイン、価格帯などの意見を聞いた上で、学校やPTAと協議します。現在のセーラー服にスラックスを加えるだけでなく、ジャケットなども含めたリニューアルを前提に、生徒が着たいと思える、時代にふさわしい制服づくりをスピード感を持って進めてまいります。

（教育長）



議席10番
田山 文雄 議員

防災対策について

問 **①地震発生後に起こる電気火災の対策として感電ブレイカーの普及啓発や県による設置助成があるが当町の考えを伺いたい。**
②震災発生時における外国人への情報伝達が課題となっているが当町としての取り組みを伺いたい。

答 感震ブレイカーは電気火災防止に有効と認識していることから、広報紙・ホームページ・防災訓練等で周知啓発を進めてまいります。県の補助制度を活用した町民への設置助成についても、他自治体の状況を踏まえ導入に向けて具体的に検討してまいりたいと考えております。

防災行政無線や町ホームページ、防災アプリ等に加え、今後は「やさしい日本語」や多言語発信の充実、国の「Safety tips」等の周知を進めてまいります。外国人の方にも参加していただける防災訓練についても、国際交流団体等と連携し、平常時からのアプリ登録促進や訓練への参加を検討してまいります。

（危機管理部長）

耳のフレイル予防について

問 **早期の発見や補聴器を使用に対する補助の取り組みが必要であると思うが当町としての考えを伺いたい。**

答 昨年の住民健診受信対象者アンケートで約半数（45.4%）が耳の検査を希望したことを受け、今年度は65歳以上を対象に認知機能検査と合わせ「耳の聞こえのスクリーニング検査」を試験的に導入し、8月に実施いたしました。今後もセミナー会場等で検査を実施し、次年度以降の本格展開を検討してまいります。補聴器購入費の助成についても単なる購入費助成にとどまらず、「早期発見・受診・適切な装用」という一連の支援体制が重要と考えますので、先進自治体の要件や事業費等を検証し、助成制度の導入に向けて検討してまいります。

（福祉部長・町民生活部長）



議席３番
枝 史子 議員

いじめ問題の現状について

問 **いじめの認知件数は、全国的に毎年増え続けており、実際にいじめ被害に苦しむ子どもや保護者の声も寄せられている。当町におけるいじめの認知件数および解消率はどれくらいか。また、いじめの解消そして予防のために、対応しているのかを問う。**

答 いじめの認知件数は、令和７年度は、小学校148件、中学校34件、いじめの解消率は、小中学校ともに100%という数字が出ております。認知件数は、少ないことだけをもって良い状況であるとは考えておりません。いじめは、重大な事案となる前の小さな兆候をできるだけ早く発見し、積極的に認知して対応することが重要であります。町内各学校では、「境町いじめ防止基本方針」に基づき、いじめを認知した場合には、管理職のリーダーシップのもと、学校全体で組織的に対応しております。そして、いじめの予防についても、人権教育等を通じて、いじめを生まない学校作りに取り組んでおります。

町としては、いじめをなくすために「大人がやれることはすべてやっていこう」というスタンスで、本気で取り組みたいと思っております。（町長・教育長）

首長部局におけるいじめ解消の取り組みについて

問 **首長部局におけるいじめ解消の仕組みを取り入れている自治体がある。**
学校や教育委員会による従来の「教育的指導」とは別に、「いじめは人権侵害」という認識に立ち、問題解決に取り組む仕組みの構築が必要と考えるが、当町の見解を問う。

答 令和６年４月から、市町村における「こども家庭センター」の設置が義務付けられており、当町でも、子ども未来課内に設置をしております。ここでは、18歳未満の子どもとそのご家族、妊婦の方から様々な相談を受け、必要な支援につなげていることから、いじめにつきましても、学校だけでなく町にも相談できると思える環境づくりを進めてまいります。このほか、毎月1回、「S-WORK+KIDS」で弁護士相談も実施しておりますので、その中でも相談を受けることができます。

（副町長・町民生活部長）

議会活動

「JAPAN SAKAI ビッグエアパーク」のオープニングセレモニー





8月1日、世界最大級のスキー・スノボエア施設「JAPAN SAKAIビッグエアパーク」のオープニングセレモニーが行われました。

式典では、ミラノ・コルティナ冬季五輪日本代表の荻原大翔選手による迫力あるデモンストレーションジャンプが行われました。

雪がなくても一年中練習できるこの施設は、未来のオリンピック選手を育てる夢のジャンプ台です。

若者を呼び寄せる新たな賑わい拠点として、境町のスポーツ振興と地域活性化を議会としても全力で応援してまいります。

岡山県高梁市視察研修





境町議会常任員会では8月7日、岡山県高梁市を訪れ、地方創生の核として注目を集める同市図書館の行政視察を行いました。

同館は、民間企業のノウハウを活かした指定管理者制度の導入や、カフェ・ショップの併設などにより、市民が集う魅力的な拠点づくりと地域活性化に成功しています。視察では、官民連携による効果的な施設運営や賑わい創出の仕組みについて熱心に説明を受けました。今回の先進的な取組事例を参考に、本町における今後の公共施設整備や効果的なまちづくりの推進に向けて、活発な意見交換を行いました。

熊本地震義援金



令和8年7月に発生した熊本地震により、被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

境町議会では、被災の復旧・復興と被災された方々の生活再建に役立てていただくため、全議員による災害支援活動を実施いたしました。

議員から集められた義援金総額12万円は、地方自治体や被災地への確実な支援へとつなげるため、8月10日、茨城新聞社（茨城新聞社会福祉事業団）へ直接寄託いたしました。

今後も被災地に寄り添った支援の輪が広がることを願うとともに、地方議会としての役割と責務を果たしてまいります。

議場を学習室として開放



境町議会では、猛暑の夏休みに学生の学習支援を行うため、役場5階の議場を自習室として無料開放いたしました。期間中は、計95名の学生の皆様にご利用いただきました。

普段は入ることのない厳かな空間に最初は緊張気味の学生たちでしたが、机に参考書やノートを広げ、涼しく快適な環境のなかで集中して夏休みの課題や受験勉強に励んでいました。

この取り組みは、議会を身近に感じてもらう貴重な機会にもなりました。今後も住民の皆様に寄り添い、親しまれる開かれた議会を目指してまいります。

編集発行：茨城県境町議会 広報編集委員会
委員長 青木　輝明　副委員長 染谷　直人　委　員 岩﨑　博　委　員 間瀬　宏宣